(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 4年 6月30日

愛知県知事殿

提出者

住所 名古屋市東区東大曽根町 12番19号 氏名 株式会社 ヒメノ 取締役社長 椋木 和之

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 052-935-8571

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

J	とのたとに関する可憐と下成したので、近山しよう。						
	事業場の名 称	株式会社 ヒ メ ノ					
	事業場の所在 地	名古屋市東区東大曽根町 12 番 19 号					
計	画期 間	令和4年4月1日~令和5年3月31日					
当	該事業場において現に行	テっている事業に関する事項					
	①事業の種 類	06:総合工事業					
	②事業の規 模	元請完成工事高: 67,621 万円					
	③従業員 数	210人					
	④産業廃棄物の一連	道路建設工事 、鉄塔建設工事					
	の処理の工程	構造物解体:がれき類→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化 金					
		属くず→再生処理業者に委託して鉄鋼として再資源化、木					
		くず→再生処理業者に委託してチップとして再資源化 廃					
		プラスチック→再生処理業者に委託して RPF 燃料として再資源化					
		基礎工事:汚泥 →再生処理業者に委託して脱水・乾燥後、材料として再資源化					

産業	 業廃棄物の処理に係る管	理体制に関する事項								
	(管理体制図)									
	安全環境部長(産業廃	棄物処理総括責任者)								
	各部門長(産業廃棄物管理責任者)									
	工事現場責任者(産業廃棄物責任者、特別管理産業廃棄物責任者)									
産業	業廃棄物の排出の抑制に	関する事項								
	1 現状	【前年 別紙のとおり								
		産業廃棄物の種類								
		排出 量 t	t							
		(これまでに実施した取組)								
		・分別の徹底・再資源化施設の利用を促進								
		・丹貝伽化ル政の利用を促進								
	②計画	 【 ^{目標} 別紙のとおり	-							
		産業尾ボルンニー								
		排出 量 t	t							
		(今後実施する予定の取組)								
		・産業廃棄物の現場内での再利用を検討								
産業	- 業廃棄物の分別に関する	事項								
f	①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)								
		・廃プラスチック類、金属くず、木くず、がれき類はそれぞれに気	†							
		別し、保管している。								

②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし
	(姓 2 天)

		(第3面)	
自	っ行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項	
	1 現状	【前年度 / 0年の欠席では、 別紙のとおり 産業廃	
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t
		(これまでに実施した取組) ・型枠材の再利用	
		【目札 別紙のとおり	
		産業元来100つ1里根	
		自ら再生利用を行う t 産業廃棄物の量	t
		(今後実施する予定の取組) ・特になし	
自	」 う行う産業廃棄物の中間	 処理に関する事項	
	1 現状	【前 ^年 別紙のとおり 産業 _{元来10001里根}	
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t
		(これまでに実施した取組) ・特に実施していない	

②計画	【目 別紙のと	おり	
	産業のスロンビス		
	自ら熱回収を行う	t	t
	産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量する	t	t
	産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定	の取組)	
	・実施する予定はな	V	

(第4面)

ら行う産業廃棄物の)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
1 現状	【前年 別紙のとおり		
	産業 元来初 7世炽		
	自ら埋立処分又は	t	t
	海洋投入処分を行った		
	産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組)		
	・実施していない		
②計画	【目 別紙のとおり		
	産業廃果物の悝類		
	自ら埋立処分又は	t	t
	海洋投入処分を行う		
	産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組)		
	・実施する予定はない		
産業廃棄物の処理の	※託に関する事項		
1 現状	【前年 別紙のとおり		

and the standard of the standa		
産業廃棄物の種類		
全処理委託 量	t	t
優良認定処理業者へ	t	t
0		
処理委託 量		
再生利用業者へ	t	t
Ø		
処理委託 量		
認定熱回収業者へ	t	0 t
の処理委託 量		
認定熱回収業者以外	t	t
の熱回収を行う業者		
への処理委託 量		
(これまでに実施した取組)		
・メーカーや発注者と事前の調	整を行い、発生量の低	減をはかる。
・可能な限り再生利用業者への	処理委託を行い、最終	処分量の低減

・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減 をはかる。

(第5面)

②計画	【目標 別紙のとおり		
	産業廃乗物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処	t	t
	理委託 量		
	再生利用業者への	t	t
	処理委託 量		
	認定熱回収業者への	t	t
	処理委託 量		
	認定熱回収業者以外の熱	t	t
	回収を行う業者への処		
	理委託量		

	(今後実施する予定の取組)・優良認定処理業者を選定する。・委託先処理業者には定期的に実施確認を実施する。
※事務処理欄	

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)① 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)② 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請 完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ 事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④ 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
 - 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
 - 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
 - 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
 - 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1 【前年度(令和3年度)実績】

	廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチッ ク	が ラス・コンクリー ト・陶磁器くず	紙くず	木くず	金属くず	混合廃棄物	
	名称(任意の名称を記入してくださ い)									
1	排出量(t)	5241	24	45	12	6	4073	32	29	
2	自ら再生利用を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	
3	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	
(5)	自ら熱回収を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	
Ø	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	
10	処理委託した全量(t)	5241	24	45	12	6	4073	32	29	
11)	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	
12	再生利用業者への処理委託量(t)	5241	24	45	12	6	4073	32	29	
(13)	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	
14)	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	

	廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチッ ク	ガラス・コンクリー ト・陶磁器くず	紙くず	木くず	金属くず	混合廃棄物	
	名称(任意の名称を記入してくださ い)									
1	排出量(t)	5200	20	40	10	5	2000	30	20	
2	自ら再生利用を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	
3	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	
5	自ら熱回収を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	
7	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	
10	処理委託する全量(t)	5200	20	40	10	5	2000	30	20	
11)	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	
12)	再生利用業者への処理委託量(t)	5200	20	40	10	5	2000	30	20	
(13)	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	
14)	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	